

福岡 みんなで子育てカイギ 2023



テーマ

家族を超えて、地域で育つ

10/28(土) 10:00~12:30

ゲスト

樋口 由恵氏

実家より実家「じじっか」(コミュニティマネージャー)

お申込フォーム



会場	電気ビル共創館3F(カンファレンスB・中会議室)		
参加申込	フォームまたはメールでお申込みください メールアドレス: foster.west@sosjapan.org		お申し込み〆切り 10/22(日)
参加費	参加無料	定員	45名(先着順) ※子連れ可



SOS 子どもの村
JAPAN

ふくおかの子どもをみんなで育てよう!

「福岡みんなで子育てカイギ」では、福岡で子どもに関わる活動をしている方のトークセッションを通して「みんなで子育て」を掘り下げていきます。そして、集まった方同士で「ああだね」「こうだね」とお話ししながら、自分にできることを見つける学びの場です。「何かできることは?」と想いをあたためている方、子どもに関わる活動をしている方、子育て中の方。子どもに関わるすべての人たちがつながり、子どもがまんなかの社会にしていきましょう! 福岡の皆さん、ぜひお越しください!

子連れ参加可能

託児はありませんが、会場後方にキッズスペースを設けます。ベビーカーでの参加も歓迎です。同じフロアには授乳室や赤ちゃん連れ対応のトイレがあります。(子どもの申込人数によりお断りする可能性があります。子連れでの参加を希望される方は、お早めにお申し込みください。)

トークセッション

テーマ「家族を超えて、地域で育つ」

コーディネーター



前田 さやか
まえだ さやか

みんな
で
里親



ゲスト

樋口 由恵

ひぐち よしえ

実家より実家じじっか
(一般社団法人 umau.)
コミュニティマネージャー



橋本 愛美

はしもと あいみ

子ども家庭支援センター
「SOS子どもの村」
みんな
で
里親
プロジェクトリーダー



未婚で男児を出産。ひとりでの育児に孤独や難しさを感じ、友人達の協力での育児が始まる。「我が子をみんなで育てること」の実体験を通し、2014年久留米市でママをひとりにしない母子家庭団体SWAKを立ち上げる。活動の中で、母子家庭の暮らしや子育てを共有できる「みんなの実家のような居場所」が必要と実感。血縁のない大家族を目指し「じじっか」を立ち上げ、現在240世帯以上の家庭が登録している。児童養護施設や短期の里親経験あり。中学生の息子さんは「僕には母親が20人いる」とのびやかに育っている。

2006年より「子どもの村福岡」の設立に参画する。現在、子ども家庭支援センターで、「みんなで見守るプロジェクト」と家庭の相談業務を担当。困難を抱える家庭を地域で支えるために、地域の里親が数日間子どもを預かる「子どもショートステイ」の普及に向けて、福岡市や関係機関と連携し全体をコーディネート。相談業務では、臨床心理士として、子どもや家族、里子、里親への支援を行っている。

当日の流れ

じじっかのお話

「ひとり親ふたり親ではなく、7人親へ」を目標に食堂や物々交換のスペースなど、10個のシェアメニューを展開!「じじっか」が見ている未来とは!?

SOS子どもの村のお話

福岡市は里親への委託率が全国1位! 全国に先がけて、地域で親子を支えていく新しい仕組みのお話

トークセッション

今、親がおかれている状況は? それぞれの取り組みから見えてくることは?

グループトーク

グループで感じたことを共有。対話しながら自分にできることを見つける時間。

日程・会場

日程 10/28(土) 10:00~12:30

会場 電気ビル共創館3F
(カンファレンスB・中会議室)
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82



【地下鉄】七隈線 渡辺通駅(電気ビル本館B2Fへ直結)
【電車】西鉄薬院駅より徒歩7分
【バス】JR博多駅バス停Aより乗車→渡辺通1丁目降車すぐ
天神大丸前バス停4より乗車→渡辺通1丁目降車すぐ

〈主催・お問い合わせ〉福岡市子ども家庭支援センター「SOS子どもの村」

TEL:092-737-8664 メール: foster.west@sosjapan.org



「みんなで見守るプロジェクト」は、地域の里親を増やし、地域で子育てを支える仕組みづくりをめざしています。本事業は、福岡市・日本財団との連携協定事業です。